

# 2019事業年度 年度計画

## 年度計画

### (1) 入学者の確保

①-1 入学希望者を対象としたホームページを充実させるとともに、入学希望者の家族、中学校関係者、さらに広く市民に呉工業高等専門学校の教育や研究、社会活動などについてホームページでも情報発信を実施する。

広島県内の主な中学校を対象にして、教員を派遣して、中学生および中学校教員に対して、呉工業高等専門学校の特性や魅力を伝える。

### ①-2

○学校見学会、入試説明会などを開催して、中学生に直接説明する機会を活用するとともに、中学校や学習塾が主催する進路説明会などの機会も利用して、呉工業高等専門学校の特性や魅力について発信する。

○専攻科入試説明会を実施し、学内の広報に努める。

○学校見学会で本校女子学生による「女子中学生なんでも相談会」を開催し、女子中学生とその保護者に女子学生の視点から本校の魅力を伝え、入学者の確保に努める。また小学生を対象としたイベントであるびっくりワクワククリスマスサイエンスショーにも女子学生がブースを出展し、本校の魅力を発信するPRを行う。

### ②-1

○女子学生向けの学生寮(女子寮)を整備し、安心して学ぶことができる環境づくりに取り組み、女子中学生にとって魅力的なキャンパスにする。

○学校見学会やびっくりワクワククリスマスサイエンスショーの際に、本校女子学生が作成した高専PRのパンフレットや、本校の女子学生の日常を写真を中心に紹介した広報誌を活用したPR活動を行う。

②-2 留学生確保に向けて、以下の取り組みを実施する。

○英語版のホームページを最新の内容に更新する。

○ホームページの英語版コンテンツの充実により、高等専門学校教育の特性や魅力について情報発信を強化する。

③ 現在実施している入学者選抜方法を通じて入学した学生を追跡調査することにより、入学者選抜方法の効果や問題点を検証して、入学者選抜方法の改善について検討を加える。

### (2) 教育課程の編成等

①-1 数年来検討を加えてきた新カリキュラムについて、2019年度入学生から実施・導入している。新カリキュラムのスムーズな導入に努めるとともに、導入に際して課題が発見された場合には、迅速・適切に対処する。

①-2 専攻科1年生において、長期インターンシップを実施する。

## 年度計画

②-1 学生が海外で活動する機会を後押しする体制を充実させるために、以下の取り組みを実施する。

- 海外留学の機会を後押しするために、留学の情報を整理して、学生に対して適切な形で周知し、サポートしていく。
- 海外の高校生や大学生が、一時的に本校を訪問する機会を積極的に生かして、ホームステイや授業参加など推進する。
- 海外の教育機関(タイを予定)との包括的な協定の締結などにより、組織的に海外留学やインターンシップを推進する。
- 近隣の大学と連携し、留学制度・研修制度の相互運用に向けた検討を進める。

②-2

- 低学年のうちに異文化に触れる経験を積むことができるよう、研修旅行を低学年で実施しているが、研修旅行の内容の更なる充実に努める。
- 学内TOEICテストの継続的な実施を行う。
- PBL科目での発表会の一部英語での実施を行う。
- 留学報告会を新規に開催する。
- 海外で学会発表を行う学生のプレゼンテーションスキルアップセミナーを開催する。

③-1 体育大会、ロボコン、プロコン、デザコン及び英語プレコン等に積極的に参加し、入賞をめざす。

③-2

- ボランティア活動に参加する学生を顕彰する制度の整備に努める。
- インキュベーションワーク等を通じてボランティア活動の意義を説明し、社会奉仕体験活動や自然体験活動への参加を呼び掛ける。
- インターアクトクラブの活動を通じてボランティア活動を実施する。

③-3

- 学生に対して、留学に関する情報提供・コミュニケーションの強化を行う。
- 「トビタテ！留学JAPAN」プログラムをはじめとする外部の各種奨学金制度等の応募ニーズの積極的な把握と、応募に向けたバックアップ体制を構築し、学生の応募を支援する体制を構築・運用する。

### (3) 多様かつ優れた教員の確保

① 専門科目担当教員の公募においては、十分な研究業績、学位取得など考慮して実施する。  
また、教員の公募においては同時に、十分な教育指導の経験を有しているなど、教育面の実績も考慮して実施する。

② 教員を確保する際に、これまでも当然ながら、企業出身者にも門戸を広げてきたが、多様な人材を確保することに努める。

③ ライフステージに応じた柔軟な勤務時間制度や同居支援プログラム等の取組を実施する。  
また、女性研究者支援プログラムの実施により女性教員や外国人教員の働きやすい環境の整備を進める

## 年度計画

④ 外国人教員は、すでに1名配置しているが、外国人教員がこれまで以上に活躍する場を広げるとともに、外国人教員の積極的採用を検討する。

⑤ 長岡技術科学大学および豊橋技術科学大学との連携を図り、研究面・教育面での交流を深める。

⑥ 学内外の講師を招聘し、教育指導、地域課題認識、教育研究倫理、メンタルヘルスなどをテーマとした学内FDを企画し、教職員全員で研修を実施する。  
また、本校の有する各種課題に関し、教職員が一堂に集い討論する恒例の「学生指導教職員研修会」を本年も実施し、教育研究活動に反映する。

⑦ 教員の活動評価ポイントの集計結果に基づき、各教員あるいは教員グループの成果を総合的に判定し、校長表彰を行う。また、中でも優れた教員若しくは教員グループは、高専教員表彰候補者として推薦する。

### (4)教育の質の向上及び改善

①ー1 モデルコアカリキュラムによる教育の質保証の取組を推進し、PDCAサイクルを機能、定着させるために、いくつかの項目についてはすでに実施しているが、十分ではなく更なる調査・検討を行う。

[Plan] ディプロマポリシーに基づく到達目標の確認

[Do]既に本校で実施している、地域や産業界が直面する課題解決を目指した課題解決型学習(PBL(Project-Based Learning))の改善のための検討を重ねる。

[Check] CBT(Computer-Based Testing)や学習状況調査等による学生の学習到達度・学習時間の把握に努める。

[Action] 授業内容、授業方法に資するファカルティ・ディベロップメント活動と授業改善の継続的实施

①ー2 優れた教育改善の事例について情報を収集して、本校における教材開発、教育方法の改善に活用する。

② 自己点検・評価及び高等専門学校機関別認証評価を計画的に進める。  
また、機関別認証評価や運営顧問会議による評価に基づき、教育改善に努める。

③ー1 H31年度入学生に対しては、1学年から3学年まで必須科目として、課題解決型のPBL授業「インキュベーションワーク」を実施する。

また、H31年度入学生に対しては、4学年から5学年まで、希望者に課題解決型の「地域実践教育プログラム」を導入する。

H31年度以前の入学生に対しては、1学年から5学年まで必須科目として、課題解決型のPBL授業「インキュベーションワーク」を実施する。

## 年度計画

③-2 インターンシップなどの多数の実施例から、効果的な取り組み、優れた取り組みなどの事例を取りまとめて、周知する。

③-3 セキュリティを含む情報教育について、関係機関と提携の上で、継続的に高度化をはかる。

④ 4高専(呉、徳山、宇部、広島商船)連携教育において、スマートボードやビデオ会議システムを用いた授業を実施する。

### (5) 学生支援・生活支援等

①

- 学生及び教職員の心の教育に役立てられるようなカウンセラー講話を実施する。
- 学生相談に関するさまざまな情報の集約及び共有を行い、全学的に対応できるような組織を構築する。
- 学生相談室長、学生相談室員の情報共有の機会として相談室会議を定期的を開催する。
- 学生対象の高専生活に関するアンケート(学生適応感尺度調査)を実施し、事後の学生指導を行う。
- 外部の専門人材を活用し、学生支援体制の強化を図るとともに、教職員の負担軽減につなげる。
- 学生相談を担当する教職員の高専間の連携を推進する。
- 学生支援機構、高専機構等の主催するメンタルヘルス関連の研修会に参加し、人材育成をはかる。

② 各種奨学金について分かりやすく学生に情報提供する。

③

- 学生の進路選択を支援するため、キャリア教育(SAPAR)の内容を実施する。また、低学年からのキャリア教育の内容について検証を加え、更なる充実を目指す。
- 卒業時の調査や卒業生の情報も活用して、キャリア支援体制の充実に努める。
- 就職担当教員が学生の就職希望会社を訪問して情報収集を行う。
- 就職・進学ガイダンスを計画的に実施する。

### 1.2 社会連携に関する事項

① 教員の研究分野や共同研究・受託研究の成果などの情報を広報資料やホームページにより発信する。

② 協働研究センター、中四国地区高専間ネットワーク等を活用し、産業界や地方公共団体との新たな共同研究・受託研究の受入れを促進するとともに、効果的技術マッチングのイベント等でその成果の情報発信や知的資産化に努める。

③-1 報道機関等との関係構築に取り組み、情報発信に積極的に取り組む。

## 年度計画

③-2 地域連携の取組や学生活動等の様々な情報について、ホームページ(「呉高専日誌」:記事・写真)への掲載や報道機関への情報提供等を通じて、社会に発信するとともに、報道内容及び報道状況を法人本部に随時報告する。

### 1. 3 国際交流等に関する事項

①-1 JICAなどから情報を収集し、海外と連携するための手段に関して検討する。

①-2 モンゴルKOSENの運営などの情報を把握する。

①-3 タイKOSENの運営などの情報を把握する。

①-4 ベトナムにおけるKOSEN導入進捗などの情報を把握する。

①-5 「KOSEN」について理解を深める。

② 「KOSEN」の海外展開とその国際化の情報を把握する。

③-1 学生が海外で活動する機会を後押しする体制を充実させるため、これまで交流を重ねている海外の教育機関との提携関係を深めることにより、学生が海外で活動しやすい環境を整える。

○海外の教育機関(タイを予定)との包括的な協定の締結などにより、組織的に海外留学やインターンシップを推進する。

○近隣の大学と連携し、留学制度・研修制度の相互運用に向けた検討を進める。【再掲】

### ③-2

○学内TOEICテストの継続的な実施を行う。

○PBL科目での発表会の一部英語での実施を行う。

○留学報告会を新規に開催する。

○海外で学会発表を行う学生のプレゼンテーションスキルアップセミナーを開催する。【再掲】

### ③-3

○学生に対して、留学に関する情報提供・コミュニケーションの強化を行う。

○「トビタテ！留学JAPAN」プログラムをはじめとする外部の各種奨学金制度等の応募ニーズの積極的な把握と、応募に向けたバックアップ体制を構築し、学生の応募を支援する体制を構築・運用する。【再掲】

④-1 ホームページの英語版コンテンツの充実により、高等専門学校教育の特性や魅力について情報発信を強化する。

④-2 日タイ産業人材育成協カイニシアティブに基づく留学生受入の情報を把握する。

## 年度計画

⑤ 教員や学生の国際交流の際には、安全面への配慮を重視して、海外旅行保険に加入させることはもとより、危機管理措置を慎重に講じる。

### 2. 業務運営の効率化に関する事項

#### 2.1 一般管理費等の効率化

少ない資源活用の検討など、効果的・戦略的な資源配分を引き続き行うことで教育研究活動、学生生活動へ寄与する。

#### 2.2 給与水準の適正化

就業規則、給与規則に準拠する。

#### 2.3 契約の適正化

○公共料金を除き、契約基準金額以上については一般競争入札等による契約方式で実施し、原則随意契約は行わない。なお、電力契約については、本年度近隣高専との一般競争入札(政府調達)による共同調達を実施する。

○既存の一般競争入札についてもコスト削減等を見据えた仕様の点検・見直しを行い、契約の適正な実施を推進する。

○「調達等合理化計画」の実施状況をホームページにより公表する。

### 3. 予算(人件費の見積もりを含む。)、収支計画及び資金計画

#### 3.1 戦略的な予算執行・適切な予算管理

校長のリーダーシップのもと、呉工業高等専門学校における教育上の自主性や強み・特色の機能強化を後押しするため、当初予算配分など、教職員に対し、運営委員会、教員会等を通じて周知する等、透明性・公平性を確保した予算配分に努める。

また、呉工業高等専門学校のアクティビティに応じた戦略的な予算配分にあたっては、以下の取組等を実施する。

○校長のリーダーシップを発揮するための校長裁量経費

○各教員への基盤教育研究経費に貢献ポイントによるインセンティブ経費を上乗せし、各教員を通じての教育研究活動を底上げ。

#### 3.2 外部資金、寄附金その他自己収入の増加

○社会連携活動の推進等を通じ、共同研究、受託研究等を促進し、外部資金の獲得の増加を図る。

○自己収入については、学生定員を充足し、入学料・授業料等の学納金収入を確保する。共同研究、受託研究、受託事業、奨学寄附金、科学研究費助成事業及びその他の外部資金の獲得に積極的に取り組み、自己収入を確保する。

#### 3.3 予算

機構本部からの予算示達による当初配分、追加配分等により予算編成を行う。

## 年度計画

### 3.4 収支計画

当初予算配分、追加配分等を通じて年間予算計画を立て機構本部に準じた収支計画を実行する。

### 3.5 資金計画

当初予算配分、追加配分等を通じて年間資金計画を立て機構本部に準じた資金計画を実行する。

### 5. 不要財産の処分に関する計画

#### ⑩ 呉工業高等専門学校

広団地(広島県呉市広中新開三丁目18160番1、18160番2、18161番、18169番1)3,990.22㎡

### 6. 重要な財産の譲渡に関する計画

以下の重要な財産について、現物国庫納付予定

#### 呉工業高等専門学校

広団地(広島県呉市広中新開三丁目18160番1、18160番2、18161番、18169番1)3,990.22㎡

### 8. その他主務省令で定める業務運営に関する事項

#### 8.1 施設及び設備に関する計画

①-1 国立高等専門学校機構施設整備5か年計画(平成28年6月決定)に基づき、教育研究活動及び施設・設備の老朽化状況等に対応した整備や、各国立高等専門学校の寄宿舍などの学生支援施設について実態やニーズに応じた整備及び施設マネジメントの取組を計画的に推進する。

①-2 施設の非構造部材の耐震化については、引き続き、計画的に対策を推進する。

#### ②

- 実験実習安全必携を新任の教職員及び新入生に配付する。
- 安全衛生に関する講習会を実施する

③ 女子学生の利用するトイレや更衣室等の設置やリニューアルなど、修学・就業上の環境整備を計画的に推進する。

#### 8.2 人事に関する計画

##### (1)方針

#### ①

- 課外活動や寮務に関して、外部人材やアウトソーシング等を活用できるかどうか、有用性、費用面を考慮しながら検討する。
- 寮の宿日直を担当する寮生指導員を増員し、教員の負担軽減を図る。

## 年度計画

② すでに検討した教員人員の計画的配置を遂行する。

③ 教員採用において、優秀な若手教員の採用を検討する。

④-1 専門科目担当教員の公募においては博士の学位を有する者を掲げる。

④-2 企業や大学に在職する人材など多様な教員の配置を可能とするためのクロスアポイントメント制度導入を検討する。(近隣の大学、国立研究所、県立研究所、企業などから適任者を積極的に招く。)

④-3  
○ライフステージに応じた柔軟な勤務時間制度や同居支援プログラム等の取組を実施する。  
○女性研究者支援プログラムの実施により女性教員や外国人教員の働きやすい環境の整備を進める

④-4 すでに採用している外国人教員の活躍できる場を広げるとともに、新たに外国人教員を採用する機会に備える。

④-5 男女共同参画に関する講演会、研修会等を教職員全員に周知し、参加者を募り、意識啓発を図る。

⑤  
○教職員の各種研修を計画的に実施し資質の向上を推進する。  
○引き続き他高専や国立大学法人との人事交流を推進する。

### (2) 人員に関する指標

常勤職員について、その職務能力の向上を図りつつ、本校の実情に即した人員配置に努める。

### 8.3 情報セキュリティについて

国立高等専門学校機構CSIRTと協力しながら、情報セキュリティ対策のために、組織や情報セキュリティポリシーを整備するとともに、必要な対策をとる。

また、情報セキュリティ上のインシデントについては、発生の予防につとめ、被害拡大を防ぐために、積極的に情報セキュリティ教育を実施する。

### 8.4 内部統制の充実・強化

①-1 出来るだけ移動時間の短縮を図るため、WEB会議を活用する。



## 年度計画

### ①-2

- 校長・事務部長会議などには常に出席し、機構本部との情報の共有化、方針の共有化を図るとともに、教員会を通じて教職員に周知する。
- 運営連絡会や総務委員会、その他の主要な会議や各種研修等を通じ、呉高専としての課題や方針の学内での共有化を図る。

①-3 機構主導の各種会議において、本校の意見等を積極的に発信する。また、呉高専の学校運営および教育活動の方針を説明する。

②-1 理事長との面談を実施する。

### ②-2

- 法人本部が作成した、コンプライアンス・マニュアル及びコンプライアンスに関するセルフチェックリストなどを活用し、呉工業高等専門学校教職員を対象とした階層別研修等により教職員のコンプライアンスの向上を行う。
- コンプライアンスに関するセルフチェックを実施する。
- コンプライアンス意識向上に関する各種研修会へ参加する。

②-3 事案が発生した場合、速やかに高専機構本部に連絡する。事案に応じ、法人本部と十分な連携を図り、速やかな情報の伝達・対策などを行う。

③ 相互監査、内部監査を実施し、監査結果を確認の上、必要な対策を施す。また、現状の監査体制で十分なのかを検証し、必要に応じて監査体制の見直しを行う。

④ 「公的研究費等に関する不正使用の再発防止策」及び「公的研究費の管理・監査のガイドライン(平成26年2月18日改正)」を確実に実施させるため教員会にて公的研究費の不正使用防止及び本校独自の公的研究費使用マニュアルにより説明を行う。新任教職員を対象とした公的研究費のコンプライアンス教育として「不正防止の取組み」「公的研究費等の管理・執行」に関する研修会を実施する。

⑤ 機構の中期計画及び年度計画を踏まえ、本校の年度計画を定める。また本校の個性や各学科の特性に応じた具体的な成果指標を設定する。